

平成 30 年 9 月 19 日

千葉県立図書館行動計画（平成 30～32 年度）

1 策定の趣旨

平成 30 年 1 月に千葉県教育委員会において、これからの時代にふさわしい県立図書館の指針として「千葉県立図書館基本構想」が策定されました。

この基本構想を踏まえ、県立図書館では、光り輝く「教育立県ちば」の実現と「読書県ちば」の飛躍に向けて大きく寄与するとともに、県民の皆様の期待により一層応えることのできる図書館となるよう取り組むため、「千葉県立図書館運営方針」（以下「運営方針」という。）を定めたところです。

この運営方針に基づき「千葉県立図書館行動計画」（以下「本計画」という。）を策定し、今後 3 年間に特に重点的に取り組むべき項目を設定し、目標達成に取り組むとともに、達成状況の自己点検及び第三者評価を行い、図書館サービスの向上に努めてまいります。

2 計画期間

平成 30 年度から平成 32 年度までの 3 年間

3 計画内容

運営方針に基づき、県立図書館の 6 つの役割・機能について次のとおり重点項目を設定し、それぞれについて主な取組と達成状況を測るための評価指標、目標値を設定します（別紙「千葉県立図書館行動計画（平成 30～32 年度）一覧」）。

役割・機能	重点項目
1 図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化
2 図書館職員の資質向上	(1) 図書館職員研修センター機能の強化
3 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進 (2) 学校図書館への支援の強化
4 課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化
5 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進
6 知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進 (2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実

千葉県立図書館行動計画(平成30~32年度)一覧

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			評価指標	H32 目標値	H29値	
			H30	H31	H32				
1	図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	【市町村立図書館等への貸出し、相談事業等の推進】 ・市町村立図書館等を通じた貸出しについて広報を進める。 ・毎年全市町村を訪問し、図書館の運営等についての調査相談を行う。	▶	▶	▶	市町村立図書館等への貸出冊数	75,000	74,861
			【新館における物流体制の検討】 ・現状の課題等について市町村立図書館等に聴取し、新館整備に向けて検討を進める。	▷	▷	▷			
			【県内最後の1冊保存体制の検討】 ・国内の先行事例について調査を行う。 ・現状の課題等について市町村立図書館等との情報交換を進める。	▷	▷	▷			
2	図書館職員の資質向上	(1) 図書館職員研修センター機能の強化	【経験別、分野別研修の実施】 ・研修結果の分析をし、研修プログラムの充実を図る。	▶	▶	▶	研修受講者の満足度	90%	89%
			【研修機会の拡充】 ・開催方法を検討し、地域別開催を実施する。	▷	▷	▶			
			【研修内容のアーカイブ化】 ・国内の事例等について調査し、課題等の洗い出しを行う。	▷	▷	▷			
3	子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	【読み聞かせ講座の実施】 ・図書館未設置市町村等で読み聞かせ講座を実施する。 ・講師養成のためのカリキュラムについて研究を進める。	▶	▶	▶	読み聞かせ講座の受講者数	80	76
			【子育て支援情報サービスの推進】 ・子育てに資する図書等を収集するとともに、県関係機関と連携しながら子育て支援情報の発信を進める。	▶	▶	▶			
			【児童書の網羅的収集の検討】 ・市町村立図書館等が児童書を購入する際の参考となるような収集方法について、国内の先行事例等の調査を行う。	▷	▷	▷			
	学校図書館への支援の強化	(2) 学校図書館への支援の強化	【県立学校等への貸出し、相談事業等の充実】 ・県立学校等の相互貸借について実態調査を進める。 ・要望の多い貸出セットの重複購入を検討する。 ・生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。	▶	▶	▶	県立学校等への貸出冊数	31,000	30,739
			【特別支援学校への読書支援の充実】 ・学校訪問等でニーズと支援方法を探り、読書支援を継続、推進する。	▶	▶	▶			
			【市町村立図書館等と小中学校との連携への支援】 ・市町村立図書館等と小中学校との連携状況を調査する。 ・小中学校支援モデル事業として貸出セットの作成を検討する。 ・図書館未設置市町村等が小中学校との連携を推進できるよう、資料の支援に努める。	▷	▷	▷			
4	課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	【課題解決支援サービスの充実】 ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を推進する。 ・個人への宅配サービスを実施する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集、提供する。	▶	▶	▶	課題解決支援のための情報発信件数 ・レファレンス協同データベース ・パスファインダー ・時事情報ブックリスト等	90	80
			【レファレンス事例の一般公開】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供を進める。	▶	▶	▶			
			【県民向け講座の実施】 ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。	▶	▶	▶			
			【時事問題等に関する新たな情報提供サービスの実施】 ・時事問題や地域の課題等に関する資料の紹介、ブックリスト等の作成、提供を行う。	▷	▶	▶			
			【電子書籍や商用データベースの動向調査】 ・都道府県立図書館の導入事例や市場動向等について調査を進める。	▷	▷	▷			
			【新館整備に向けた資料管理の検討】 ・重複図書の除籍を進める。 ・重複雑誌の除籍と書誌修正を進める。 ・新館における資料の収集、整理方法について検討を進める。	▷	▷	▷			

千葉県立図書館行動計画(平成30~32年度)一覧

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			評価指標	H32 目標値	H29値
			H30	H31	H32			
5 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	【千葉県関係資料の網羅的収集】 ・官公庁など関係部署への寄贈依頼を定期的に行う。 ・出版情報について新聞記事等により把握し、幅広い収集を行う。	▶	▶	▶	千葉県に関する情報発信件数 ・レファレンス協同データベース ・パスファインダー ・テーマ別リスト等	20	15
		【千葉県関係の情報検索ツールの充実】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供や新聞雑誌記事索引、人名索引、デジタルアーカイブ、パスファインダー、テーマ別リスト、目次情報など、千葉県関係の情報に到達しやすい環境を整備する。	▶	▶	▶			
		【千葉県資料のデジタル化】 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料など利用者ニーズの高いものからデジタル化を進める。 ・国立国会図書館や他県の動向について調査を行い、デジタル化の指針を改定する。	▶	▶	▶			
		【インターネット上の地域行政資料の動向等調査】 ・オープンデジタル資料(初めからデジタルデータとして作成されたコンテンツ)やオープンデータ(二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ)の収集、提供など、国内の動向について調査を行う。	▷	▷	▷			
6 知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進	【関係機関と連携した事業の実施】 ・博物館や文書館、県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。 ・関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。	▶	▶	▶	連携事業の実施回数	10	9
		【関係機関との連絡調整会議の実施】 ・博物館や文書館、県民プラザ等関係機関との情報共有を進める。	▶	▶	▶			
		【オリンピック、パラリンピック関連事業の実施】 ・県関係機関と連携しながらオリパラ関連資料を収集、提供し、展示など県民への広報普及に努める。	▷	▶	▶			
	(2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	【障害者用コンテンツの充実】 ・点訳絵本、録音図書等の作成を進める。	▶	▶	▶	録音図書の貸出タイトル数	14,000	13,388
		【障害者サービスの普及】 ・県内図書館向け研修や県民向け講座等を充実する。	▶	▶	▶			
		【新しいサービスの研究開発】 ・多言語社会や発達障害者への対応など新しいサービスの研究開発を進める。	▷	▷	▷			

※スケジュール凡例

▷：検討段階

▶：実施段階